

知っていますか？意外と多い高齢者の入浴中の事故！！

※2024年の厚生労働省の人口動態統計によると、浴槽内または浴槽への転落によって亡くなった7776人の約95%が65歳以上の高齢者でした。

【原因】

冬場に浴槽で溺れる事故が多い原因としては、暖かい室内と寒い脱衣所や浴室との温度差などによる急激な血圧の変動、熱いお湯を張った浴槽に長く浸かることによる体温上昇での意識障害などが挙げられます。



<アドバイス>

1、高齢者がいる家庭では高齢者が入浴しているときは、異変がないか気をつけましょう！！

(「いつもより時間が長い」「音が全くしない」「突然大きな音がした」などの異常を感じたら、すぐに様子を見に行きましょう)

2、前もって脱衣所や浴室を暖めておきましょう。

3、入浴前に水分補給し、入浴中でも喉が渴いたらこまめに水分を取りましょう。

4、食後すぐの入浴、飲酒後、睡眠薬などを服用した後の入浴は避けましょう。

5、同居者が居る場合は、入浴前に一声かけましょう！！

6、熱いお湯や長時間の入浴は避けましょう。

(湯温は41度以下が目安で、時間が気になる時はタイマーを使いましょう)



7、浴槽から出るときは、手すりや浴槽のへりを使って、ゆっくり立ち上がるようにしましょう。

8、浴槽内で意識がもうろうとしたら、気を失う前に湯を抜きましょう。

(同居者が居るときは助けを呼びましょう)

1つでも心当たりがあったら、
お住いの地域の消費者センター（相談窓口）もしくは消費者ホットライン188へ電話！！